

参考資料

準備委員会設立趣旨

平成35年国体・全障スポを当県で開催することは、より多くの県民の皆様にスポーツに親しんでいただく契機となり、当県が進めている「スポーツのユニバーサルデザイン化」や「スポーツによる地域の活性化」に一層寄与するものと考えおります。

この両大会の成功に向けての諸準備のために、平成35年国体・全障スポ佐賀県準備委員会を設立します。

発起人 佐賀県知事

佐賀県教育委員会

公益財団法人佐賀県体育協会会長

一般社団法人佐賀県障がい者スポーツ協会会長



平成35年国民体育大会・全国障害者スポーツ大会

佐賀県準備委員会 委員名簿

敬称略

	所属・役職	氏名
1	佐賀県知事	古川 康
2	佐賀県市長会会長	横尾 俊彦
3	佐賀県町村会会長	武村 弘正
4	(一社) 佐賀県障がい者スポーツ協会会長	福田 喜一
5	(公財) 佐賀県体育協会副会長	愛野 時興
6	(一社) 佐賀県医師会会長	池田 秀夫
7	(公財) 佐賀県看護協会会長	三根 哲子
8	(福) 佐賀県社会福祉協議会会長	吉野 健二
9	(一財) 佐賀県手をつなぐ育成会会長	中島 直幸
10	佐賀県精神保健福祉連合会会長	相原 一郎
11	(一社) 佐賀県身体障害者団体連合会副会長	小椎尾 嘉明
12	佐賀県商工会議所連合会会長	井田 出海
13	佐賀県商工会連合会会長	飯盛 康登
14	(一社) 佐賀県観光連盟副会長	山口 雅久
15	(公財) 佐賀県体育協会理事長	東島 敏隆
16	佐賀県副知事	牟田 香
17	佐賀県教育委員会教育長	池田 英雄
18	佐賀県文化・スポーツ部部長	伊藤 正
19	佐賀県会計管理者	西村 宏之



国民体育大会の概要

1 目的

大会は、広く国民の間にスポーツを普及し、スポーツ精神を高揚して国民の健康増進と体力の向上を図り、併せて地方スポーツの振興と地方文化の発展に寄与するとともに、国民生活を明るく豊かにしようとするものである。

2 性格

大会は、国民の各層を対象とする体育・スポーツの祭典である。

3 主催

大会の主催者は、日体協、文科省及び開催地都道府県とし、各競技会については日体協加盟競技団体及び会場地市町村を含めたものとする。

4 開催時期・会期

9月中旬～10月中旬の11日間以内

※ 大会の会期は、開催3年前に日体協が開催県と協議して決定する。

5 実施予定競技

実施競技は4年毎に見直されており、平成35年の大会における実施競技については、平成27年度に発表される見込みであり、現在はまだ選定されていない。

※ 長崎がんばらんば国体（平成26年）実施競技

○正式競技 37競技

陸上競技、水泳、サッカー、テニス、ボート、ホッケー、ボクシング、バレーボール、体操、バスケットボール、レスリング、セーリング、ウエイトリフティング、ハンドボール、自転車、ソフトテニス、卓球、軟式野球、相撲、馬術、フェンシング、柔道、ソフトボール、バドミントン、弓道、ライフル射撃、剣道、ラグビーフットボール、山岳、カヌー、アーチェリー、空手道、銃剣道、クレール射撃、なぎなた、ボウリング、ゴルフ

○公開競技 2競技

高等学校野球、トライアスロン

6 参加者

選手・監督・競技役員 約22,000名



全国障害者スポーツ大会の概要

1 目的

障害のある選手が、障害者スポーツの全国的な祭典であるこの大会に参加し、競技等を通じ、スポーツの楽しさを体験するとともに、国民の障害に対する理解を深め、障害者の社会参加の推進に寄与することを目的とする。

2 主催

大会の主催者は、日障スポ協、文科省、大会開催地の都道府県・指定都市及び市町村（指定都市を除く。）並びにその他の関係団体とする。

3 開催時期・会期

大会は、毎年実施される国体直後を原則として、当該都道府県において3日間で開催する。

4 実施予定競技

大会における実施競技・種目は、「全国障害者スポーツ大会競技規則」による。

※ 長崎がんばらんば大会（平成26年）の実施競技
陸上競技、水泳、アーチェリー、卓球（サウンドテーブルテニスを含む）、
フライングディスク、ボウリング、バスケットボール、
車椅子バスケットボール、ソフトボール、グラウンドソフトボール
フットベースボール、バレーボール、サッカー

5 競技施設

大会における競技施設は、原則として、国体の会場を使用する。

6 参加者数 約5,500人

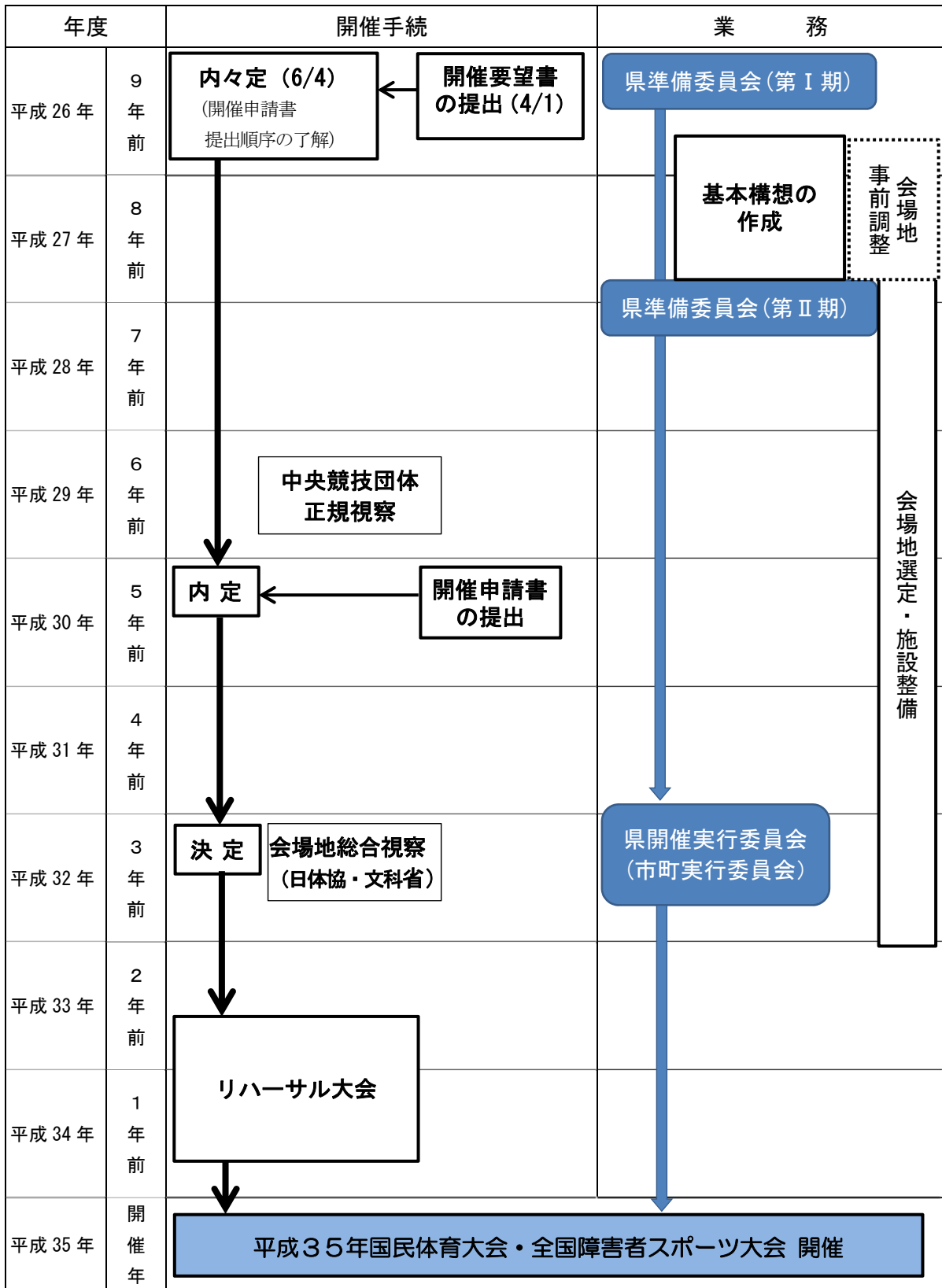


平成35年国民体育大会・全国障害者スポーツ大会開催準備経過

年 月 日	内 容
平成25年 7月 1日	県体協の理事会において、「二巡目佐賀国体誘致要望」を議決。
8月 1日	県障スポ協役員会において、「平成35年全障スポ佐賀県招致要望」を議決。
8月 2日	県体協が「平成35年国体の佐賀県招致要望書」を、また、県障スポ協が「平成35年全障スポ佐賀県招致要望書」を、県知事、県教育委員会、県議会議長にそれぞれ提出。
11月25日	11月定例県議会の知事提案事項説明趣旨で知事が「平成35年国体及び全障スポの佐賀県招致」を表明。
12月17日	県議会が「平成35年国体及び全障スポの佐賀県招致」を決議。
12月20日	定例教育委員会において「平成35年国体及び全障スポの佐賀県招致」を議決。
平成26年 4月 1日	文科大臣、日体協会長、日障スポ協会長に「平成35年国体及び全障スポ開催提案書（日体協のみ「国体開催提案書」）」を提出。
6月 4日	日体協理事会において、開催申請書提出順序の了解（開催内々定）。
10月 9日	平成35年国体・全障スポ佐賀県準備委員会設立



平成35年国民体育大会・全国障害者スポーツ大会 開催全体スケジュール





国民体育大会・全国障害者スポーツ大会開催一覧

(2001 年以降)

国体回数	全障スポ 回数	年	開催地
56	1	平成 13 年	宮城県
57	2	平成 14 年	高知県
58	3	平成 15 年	静岡県
59	4	平成 16 年	埼玉県
60	5	平成 17 年	岡山県
61	6	平成 18 年	兵庫県
62	7	平成 19 年	秋田県
63	8	平成 20 年	大分県
64	9	平成 21 年	新潟県
65	10	平成 22 年	千葉県
66	11	平成 23 年	山口県
67	12	平成 24 年	岐阜県
68	13	平成 25 年	東京都
69	14	平成 26 年	長崎県
70	15	平成 27 年	和歌山県
71	16	平成 28 年	岩手県
72	17	平成 29 年	愛媛県
73	18	平成 30 年	福井県 (内定)
74	19	平成 31 年	茨城県 (内定)
75	20	平成 32 年	鹿児島県 (内々定)
76	21	平成 33 年	三重県 (内々定)
77	22	平成 34 年	栃木県 (内々定)
78	23	平成 35 年	佐賀県 (内々定)
79	24	平成 36 年	滋賀県 (内々定)



昭和51年 第31回 国民体育大会（夏・秋）概要

1 開催期間

夏季大会：9月19日～22日 秋季大会：10月24日～29日

2 参加者数

22,335人

3 大会開催の基本方針

- ① 広く県民の間にスポーツを普及し、心身ともに健やかな青少年を育成するとともに、公正・明朗な県民性を培う。
- ② 開催にあたっては、質実・剛健・明朗を旨とし、将来にわたって「佐賀国体」がスポーツの振興と県勢の伸長に寄与するようつとめる。
- ③ 大会参加者の受け入れについては、物心両面にわたり遺憾のない体制を整えるとともに、文化・産業・観光等を通じて佐賀県の特性を発揮することにつとめる。

4 スローガン

さわやかに・すこやかに・おおらかに

5 実施競技・会場

水泳	佐賀市 県総合運水泳場	ソフトテニス	小城町 小城公園 他
漕艇	唐津市 松浦川漕艇場	卓球	嬉野町 町体育館
ヨット	唐津市 唐津ヨットハーバー	軟式野球	伊万里市 国見台野球場 他
陸上	佐賀市 県総合運陸上競技場	相撲	有田町 白磁ヶ丘相撲場
サッカー	唐津市 多久市 松浦河畔公園 他	馬術	鳥栖市 佐賀競馬場
テニス（庭球）	佐賀市 県庭球場	柔道	佐賀市 佐賀商高体育館
ホッケー	伊万里市 国見台陸上競技場 他	ソフトボール	武雄市 鹿島市 白岩公園 他
ボクシング	嬉野町 嬉野商高体育館	フェンシング	白石町 町社会体育館
バレーボール	鳥栖市 市民体育館 他	バドミントン	牛津町 牛津高体育館 他
体操	佐賀市 県体育館 他	弓道	唐津市 唐津商高弓道場
バスケットボール	唐津市 市体育館 他	ライフル射撃	佐賀市 三瀬村 県ライフル射撃場 他
レスリング	鹿島市 市民体育館 他	剣道	武雄市 白岩体育館
ウエイトリフティング	有田町 町文化体育館 他	ラグビー フットボール	佐賀市 三田川町 県総合運球技場 他
ハンドボール	神埼町 神埼高 他	山岳	浜玉町 他 脊振・多良山系
自転車	武雄市 自転車競走場 他	高校野球	唐津市 太良町 唐津市野球場 他



昭和51年 第12回全国身体障害者スポーツ大会概要

1 開催期間

11月6日～7日

2 参加者数

選手 838人 役員関係者 893人 計 1,731人

3 大会開催の基本方針

- ① 身体障害者の社会復帰への旺盛な意欲を助長する「努力と友愛の祭典」とし、併せて県民の社会福祉への理解をよりいっそう深めることを重点とする。
- ② この第12回大会を記念するため広く県民から募集したスローガン「がんばって はげましあって わく希望」のもとに、全国からの参加者を“まごころ”をもって暖かく迎え、希望にみちた大会とする。

4 大会スローガン

がんばって はげましあって わく希望

5 実施競技・会場

陸上競技	県総合運動場
盲人野球競技	
水泳競技	
アーチェリー競技	
卓球競技	佐賀商業高校体育館
車椅子バスケットボール競技	県体育館（市村記念体育館）